

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)桃山町大島計画	階数	地上5F
建設地	京都市伏見区桃山町大島 保留地	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域 法第22条区域 15	平均居住人員	295 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2013年12月6日
敷地面積	3,805 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	2,007 m <sup>2</sup>	確認日	2013年12月8日
延床面積	7,694 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東洋設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 82%  
③上記+②以外の 82%  
④上記+ 82%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
街並みに対する建物の修景等、周辺環境について配慮し、室内外における良好な生活環境の形成を目標とした設計を行った。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気環境について配慮した。	京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に準ずる配慮を行った。	植栽を敷地境界部分に分散配置することで、豊かな生活環境を形成できるよう配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能表示基準の住宅性能評価省エネ対策等級3とした。	特になし	適切な量の駐車スペースを確保することで、敷地周辺の交通負荷抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される